

MCN REPORT

防災意識を高める防災展示会・ 研修会を開催しました

Vol.49
2021.12



防災展示会 in 学生ホール(1ページ)



みかん狩り(4ページ)

主 な 内 容

そのときどうする？ 防災意識を高めよう！	1
大学運営に係る評価結果	2
大学の出来事	3
地域交流センター 令和3年度 第2回公開講座	4
連携協力協定病院紹介(三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院)	5
お知らせ	6



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

そのときどうする？防災意識を高めよう！

実物を見てみよう！防災展示会

▶11月1日(月)～10日(水)

地域交流センターの教員提案事業「災害に備えよう」では、地域住民の皆さまの防災・減災力向上に寄与することを目的として活動しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮した結果、本学学生を対象とした学内での啓発活動を行うこととし、感染対策に留意しながら下記のとおり開催しました。



- 期 間:令和3年11月1日(月)～11月10日(水)
- 場 所:実習棟1階 学生ホール
- テーマ:実物を見てみよう！防災展示会
- 内 容:避難所における居住スペースの再現(段ボールベッドやパーテーション・簡易トイレの設置)、防災グッズや避難所における供給品の展示

展示会の参加者からは、準備すべき非常用持ち出し用品を理解でき、平時から準備しておく必要性を再確認することができたとの声がありました。また、避難所の居住スペースの広さ等をイメージすることができたことから、防災意識の向上に役立つ展示会となりました。



新任保健師の災害時研修

▶9月27日(月)

令和2年度より、「新任期保健師の災害時における公衆衛生看護活動支援」を実施しています。今年度は2回の対面での研修会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、1回のオンラインによる研修会に変更し、講義「災害時の公衆衛生看護活動」、研究報告「紀伊半島大水害を振り返り今後に備える」、演習「HUG(避難所運営ゲーム)から学ぶ住民支援」を行いました。

1～5年目の保健師14名が参加しました。画面越しでの避難所HUGでは、仲間と相談できないことで戸惑いもあったようですが、参加者全員が、研究報告や演習に対しての意見や感想を述べることで、災害時の住民支援の難しさを共有するとともに、日頃の活動を通して災害時の公衆衛生看護活動に備えることの重要性を再確認できる研修会となりました。



大学運営に係る評価結果

第三期中期計画の推進

公立大学法人においては、設立団体の長(本学は三重県知事)が6年間の中期目標を定め、その目標を達成するため公立大学法人が中期計画を策定することになっています。

本学においては、三重県知事が定めた令和3年度からの第三期中期目標を達成するため、6年間の第三期中期計画(令和3年4月～令和9年3月)を策定しました。

ますます多様化、高度化する保健医療ニーズに応え、地域社会の保健・福祉に関わる切実な課題を解決するため、3つの考え方を基本として取り組んでいきます。



- ①多様化する保健医療ニーズや地域の特性を的確にとらえて看護を
実践できる人材を育成するための**質の高い教育・研究の実践**
- ②県内の医療機関、市町及び地域住民等との連携のもとに、地域の看護
職者のスキルアップや県民の健康に関する意識の向上などを進める
社会貢献・地域連携の推進
- ③自己点検・評価や第三者評価、監査の結果を教育研究活動や業務運営
の改善に活用した**的確な業務運営・大学教育の質保証**

業務実績に関する評価結果

本学では、中期計画の推進のため年度毎に計画を策定し、大学運営に取り組んでいます。そして、年度計画と中期計画の業務実績を県が設置した三重県公立大学法人評価委員会に報告し、評価を受けることとなっています。

令和2年度業務実績と、平成27年度から令和2年度までの第二期中期目標期間における業務実績に対する評価結果は、次のとおりでした。

▶令和2年度業務実績評価の概要

(教育研究等の向上に関する項目)

教育に関する項目と研究に関する項目について、「年度計画を順調に実施している」と評価されました。

(教育・研究以外の項目)

「地域貢献等」、「業務運営の改善及び効率化」、「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び情報の提供」、「その他業務運営」の各項目で「A」(順調に実施している)と評価されました。

(全体評価結果)

「第二期中期目標期間の最終年度にあたる令和2年度の業務実績は年度計画を計画どおりに遂行しており、全体として中期計画を順調に実施している」と認められました。

▶第二期中期目標期間(平成27年4月1日～令和3年3月31日)における業務実績評価の概要

7項目すべてについて、「A:中期目標の達成状況が良好である」と評価され、全体評価としても、『中期目標を達成できた』と評価されました。



大学の出来事

高校生のための看護職キャリアデザイン講座「出前授業」

6月～7月

6月から7月にかけて、看護職に興味を持っている県内高校生を対象に、本学教員が高校に出向いて出前授業を開催しました。「看護の仕事とは?」「看護職の現状は?」「将来のキャリアアップは?」など、看護職について「もっと詳しく知りたい!」という要望にお応えできるよう内容を工夫し講義を行いました。

例年、対面で開催していましたが、今年度から感染症対策としてオンラインでの開催も選択いただけるようにしました。

今年度は、合計で25校876名の参加がありました。

参加者の皆さんは熱心に受講しており、看護職に対する興味の高さが窺えました。受講後のアンケートでは、「看護職に就きたい気持ちが強くなった」「自分の将来について考え直すきっかけとなった」など、たくさんの意見をいただきました。



学生ボランティア活動報告会

毎年11月

学生ボランティア活動支援委員会では、毎年11月に学生ホールにおいてボランティア活動報告会を行ってきましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、ポスター掲示にて行うこととしました。

学生の皆さんにボランティア活動をより身近に感じてもらうため、今年度実際にボランティア活動に参加した3名の学生(1年生・2年生・4年生)にそれぞれのボランティア活動を紹介してもらいました。その中で、「学生」という立場から離れて「ひとりの人」として地域活動に参加することで、実習等とはまた違った人との関わり方を楽しめたという報告がありました。また、3名全員がボランティア活動に参加することで「コミュニケーション能力を高めることができ、将来に活かしていきたい」と述べていました。

学生の皆さんがボランティア活動にもっと興味をもってくれるきっかけになることを願っています。



県内病院等看護管理者意見交換会

11月2日(火)

看護管理者意見交換会は、地域に貢献する看護職者の育成と県内看護職者の支援を担う本学が、地域の医療機関のニーズを把握し、連携を一層深めるために毎年開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により11月2日(火)にオンライン開催となりましたが、県内30の病院・訪問看護ステーションの管理者の皆さまにご参加いただきました。

県医療保健部医療政策総括監 杉本匡史氏に「三重県におけるCOVID-19の現状や行政における対応」について、県内の最新状況をご講演いただきました。また、学長講話として「新型コロナウイルス感染症が看護基礎教育にもたらしたもの」、続いて、小池教授から「新型コロナウイルス感染症と看護職者のメンタルヘルスケア」、中西学部長から「コロナ時代の新人看護職員研修」をテーマに話題を提供しました。その後、各施設における新人看護職員への教育の実際やその問題点等について、活発な意見交換が行われ、情報共有をしていただきました。



みかん大出前講座「みんなで楽しくスクエアステップ！」

10月6日(水)

本学の地域貢献活動の拠点となる地域交流センターでは、県民・県内看護職者・卒業生を対象としたさまざまな取組を行っています。その取組の一つ、「みかん大出前講座」では、本学教員が県内各地に出向き、ご希望のテーマで講座を実施しています。

10月6日(水)に、高齢者の積極的な社会参加を支援するボランティア団体からの依頼を受け、「みんなで楽しくスクエアステップ！」講座を開催しました。

スクエアステップは、楽しみながら介護予防をめざす簡単な運動を継続的に行うことで、身体機能の向上・認知機能の低下予防などが期待されています。

当日は、自己紹介とミニ講義の後、スクエアステップを体験していただきました。参加された皆さまは、できたことだけでなく、できなかったことも笑い合い、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく運動されていました。



みかん大の「みかん狩り」(法人化記念植樹「みえ紀南1号」)

10月21日(木)

秋の恒例行事、「みかん狩り」を行いました。当日は学長も参加し、一つひとつ丁寧にみかんを収穫しました。採りたてのみかんが学内で振る舞われると、学生たちが詰めかけ、喜んで手に取っていました。

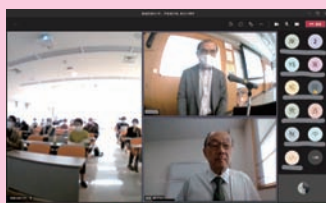


地域交流センター 令和3年度 第2回公開講座

認知障害と自動車の運転

10月30日(土)に、渡邊修先生(東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座教授・東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科 診療部長)を講師にお迎えし、「認知障害と自動車の運転」をテーマに公開講座を開催しました。

講演では、運転に必要な身体機能や疾病による運転への影響、運転の再開への支援など、安全な自動車運転について、運転をする人、それを支援する人、どちらの立場においても非常に重要な内容をお話いただきました。参加者からは、「運転行為は思った以上に複雑なものだと驚き、大変参考になった」「1時間とは思えない情報量、ありがたかった」等の感想があり、好評でした。



今回も、新型コロナウイルスの感染防止対策として、検温・手指消毒、会場内の換気を徹底し、参加人数を制限しましたが、102名の県民・県内医療職の皆さまにご参加いただきました。次回は、令和4年1月8日(土)になります。皆さま、ぜひご参加ください。



連携協力協定病院紹介

連携協力協定病院のご紹介 ～三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院～

看護のやりがいを感じ、自己の成長を実感できる当院から第一歩を

松阪中央総合病院は、県内に7つの事業所(6病院と1診療所)を有するJA三重厚生連の基幹病院です。地域医療の拠点として、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献しています。

当院は、病床数440床、診療科22科を有する三重県南勢志摩医療圏の基幹病院であり、急性期医療を担っています。地域の皆様に愛され、選ばれる病院をめざし、救急医療やがんの最先端医療に力を注いでいます。

施設の狹隘化が進む中、機能面の充実・強化を図るため、5階建て新棟を増築、2021年11月に本格稼働しました。救急センターの拡充に加え、救急病棟を新設、さらに特定集中治療室を隣接させることで高度急性期医療に対応します。クリティカルケア領域の充実が図られる中で、看護部ではキャリア開発ラダーシステムを導入、個々のキャリア発達を支援しながら、自律した看護師の育成に努めています。

当院でも多くの新採用者を迎えますが、コロナ禍で臨地実習が十分に受けられなかった方も多く、2021年度は新たな内容を加えた教育プログラムを準備しました。新人看護師を支援するためのサポートナースを配置し、一人ひとりを支えています。夜勤に入る時期も一人ひとりの成長に合わせて進めています。

ワーク・ライフ・バランス推進にも積極的に取り組み、結婚や子育て支援も整えておりますので、安心して長く働き続けることができます。現在、病院見学や就職説明会はWebで開催しておりますので、ぜひ一度、ご参加ください。

(看護部長 濱口早弓)



三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院



病院情報

三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院 (昭和36年7月開設)

- ❖ 病床数: 440床
- ❖ 診療科目: 内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、精神神経科、外科、整形外科、脳神経外科、胸部外科(心臓血管外科・呼吸器外科)、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科(22科)
- ❖ 職員数: 870人(うち看護師437人) (令和3年10月1日現在)

連携協力協定機関一覧

12病院・2市

● 三重県厚生農業協同組合連合会
鈴鹿中央総合病院

● 社会医療法人畿内会 岡波総合病院

● 伊賀市立上野総合市民病院

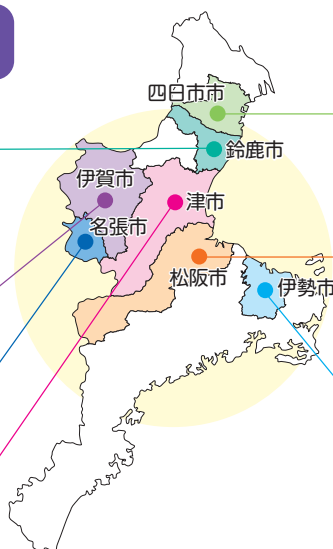
● 名張市

● 三重県立こころの医療センター

● 独立行政法人国立病院機構 三重病院

● 三重県立一志病院

● 津市



● 地方独立行政法人
三重県立総合医療センター

● 松阪市民病院

● 社会福祉法人恩賜財団
済生会松阪総合病院

● 三重県厚生農業協同組合連合会
松阪中央総合病院

● 日本赤十字社 伊勢赤十字病院

● 市立伊勢総合病院

(令和3年11月末日現在)

認定看護師教育課程「感染管理」開講のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、感染症に関する専門的な知識と技術を持つ感染管理認定看護師が、感染対策の強化などにその高い能力を発揮し活躍しています。

地域交流センターでは現在、特定行為研修指定研修機関である三重大学医学部附属病院と連携して、特定行為2区分を組み込んだ内容で令和4年度から新たに「感染管理」分野を開講できるよう準備を進めています。※入学者募集等に関する詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.mcn.ac.jp/local-exchange/kansen>

出願期間 令和4年1月11日(火)
～1月24日(月) ※必着

入学試験日 令和4年2月7日(月)

選抜方法 筆記試験・小論文・面接

合格発表日時 令和4年2月17日(木) 13時

問い合わせ先 地域交流センター

TEL/FAX 059-233-5658



次回公開講座のお知らせ

令和3年度 第3回公開講座

テーマ ～こころの健康と運動～
『楽しむ』原点から学んだ指導

講師 井村 久美子氏
(株式会社イムラアスリートアカデミー)

日時 令和4年1月8日(土)
13時10分～14時40分(受付開始12時30分)

定員 100名
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、事前申込に限りします。

申込期間 令和3年12月6日(月)～12月24日(金)

申込方法 上記申込期間になりましたら、ホームページより申込用紙又はQRコードをご確認いただけます。以下のいずれかの方法でお申込みください。・申込用紙の送信(FAX)・QRコード・電話

問い合わせ先 地域交流センター
TEL/FAX 059-233-5610



さらなる発展と人材育成の充実に向けて

～学生の修学支援のための基金への寄附のお願い～

本学では、開学20周年(平成29年)を契機として学生の修学支援に活用するため、皆さまからの寄附を原資とする「公立大学法人三重県立看護大学修学支援基金」を創設しました。

この基金は「みかん大進学支援給付金」の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、本学への進学の目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な人への入学時の給付金に活用しています。

新型コロナウイルス感染症により、令和2年度には、「生活支援給付金」や「緊急支援一時貸付金」に活用するとともに、今年度は、実習等で必要な「PCR検査費用の支援」を行っています。

■皆さまへのお願い■

基金創設時には多くの皆さまからご厚志を賜り

ましたが、継続的かつ機動的に、安定した学生への支援を可能とするため、引き続き、皆さまからご寄附を賜りますようお願い申し上げます。

■寄附にあたってのお得なお知らせ■

本寄附金は、総務大臣及び文部科学大臣の承認を得て、所得税の税額控除の対象となっています。詳細は事務局にお問い合わせください。(対象:平成31年1月～令和5年12月寄附分)

■令和3年11月末の基金の状況■

基金残高 3,374,292円
寄附者数(のべ) 個人 91名
法人・組織 15団体

問い合わせ先 寄附に関すること:事務局財務・運営課
給付金に関すること:事務局教務学生課



公立大学法人 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘一丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。

広告

あなたのめざす看護を私たちとともに

2021年10月5階建て**新棟**が完成！

救急センターの拡充と救急病棟新設



ダヴィンチ導入に加え
県下初ドクターカーの運用開始



三重県厚生連農業協同組合
松阪中央総合病院
〒515-8566 松阪市川井町字小望102
TEL: 0598 - 21 - 5252
http://www.miekosei.or.jp/1_mch/

WEB説明会
随時開催中



三重県立看護大学

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

みかんだい LINE 公式アカウント のご案内

高校生・受験生の皆さんに本学の
最新情報をお届けしています！



友だち登録は
左の QR コードから！



広告

生きる力を支える医療へ



回復期リハビリテーションや、緩和ケアを中心とした専門性の高い大学病院です。

詳細はホームページでご確認ください。 <https://nanakuri.fujita-hu.ac.jp>



藤田医科大学 七栗記念病院
FUJITA HEALTH UNIVERSITY NANAKURI MEMORIAL HOSPITAL

〒514-1295 三重県津市大鳥町424番地1
TEL:059-252-1555 FAX:059-252-1383